

H23.8.25「石狩市寿窯陶芸クラブ」から陶芸関係の本を寄贈していただきました

この度、北海道石狩市の「寿窯陶芸クラブ」から陶芸関係の本を寄贈していただきました。
本と一緒にメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。

～寿窯陶芸クラブ「陶寿会」からのメッセージ（抜粋）～

「震災から五ヶ月あまり過ぎましたが、物質的、精神的な傷が癒えぬなか、復旧、復興に向けて日々取り組まれていることと推察いたします。

名取市だけではなく被災された各県各地域の皆さまには、なんとお声をかけていいのか言葉が見あたりません。遠く離れている石狩市からも、何かお役に立てることがないかと、みな心をいただいています。

そこで、会員の中で話し合い、「ふれあい広場」（身障者の方と健常者の方との交流イベント）で、20数年続けている、会員が作ったやきもののチャリティーセールで、名取市に本をお贈りしたいとの趣旨に賛同いただき、多くの市民から協力をいただき、売上金の一部で陶芸関係の本を購入し、お贈りさせていただきます。

未だ好きな趣味などに目を向ける余裕などないかと思いますが、お贈りした本を通して少しでも物作りの楽しさやすばらしさに触れ、明日への希望の一滴となっただけならば、大変うれしく思います。」

震災以降、北海道石狩市の方々から様々な手厚い支援を頂いております。

この度の本の寄贈に関しましても、寿窯陶芸クラブの皆さまをはじめ、石狩市民の皆さま、当名取市への心よせ、大変ありがとうございます。

頂いた本は、早速新刊コーナーで貸し出しておりますので、利用者の皆さまどうぞご利用ください。



H23.8.25「臨時開館書庫」の中には新刊本もあります

現在、メインの開架スペースとして開放している「臨時開館書庫」については、本館が使用できない間の代替場所としての役割を担っておりますが、奥まった場所にあって分かりづらく、書庫内も大変狭く、ご利用には大変ご不便をおかけしております。

この書庫は、旧市庁舎時代から書庫として利用されてきた建物を使用しており、経年劣化により外壁等は傷んでおりますが、コンクリート造りのため頑丈に出来ています。

書庫内には、新刊本のコーナーがあり、貸し出しの準備が出来次第、配架しております。その他、空港・飛行機関連コーナーの設置や、各分類ごとの蔵書を配架し、合計1万冊余りの蔵書を貸し出ししております。

メインの貸し出しスペースとしては、大変不自由をおかけしておりますが、新刊本の貸し出しも行っておりますので、どうぞ図書館へ足をお運びください。



H23.8.13 「クロノス」リスナーの皆さん、ありがとうございました

本日、「株式会社エフエム東京」を通じて、図鑑の寄贈がありました。（現在、図書の寄贈受入は行っておりません）

これは、東京エフエムのラジオ番組である「クロノス」で、番組企画「クロノス図鑑プロジェクト」でリスナーに呼びかけを行い、

全国リスナーから善意で集まった図鑑です。

ダンボール箱の中には、被災地への想いと共にぎっしり詰まった図鑑の数々。

寄贈された図鑑を棚へ配架しましたところ、子どもや孫のためにと、早速手に取っていました。

きっと、手に取った一冊の図鑑が、子どもたちの好奇心を満たし、将来への夢へと繋がる一歩となることでしょう。

全国のクロノスリスナーの皆さん、本の寄贈をありがとうございました。



H23.8.9 「七夕飾り」は終了しました

今年の七夕飾りは、例年とは違った特別な想いが込められた短冊がかけられました。

図書館としては、一日も早く、利用者の方々に本が読める場所の提供ができることを願い、その実現に向けて、努力して参ります。

開館時間などのサービスについても、利用拡大に向けて現在調整をさせていただいておりますので、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。



H23.8.2 「七夕飾り～星に願いを～」イベント開催しています

8月2日より、「七夕飾り」イベントを開催しています。
思い思いの願いを色とりどりの短冊に書いて、笹竹に飾ります。
次の開催は、4日(木)と6日(土)になります。
ぜひ、お子様連れでお越しください。

